

平成28年度

# 高齢社会

フォーラム  
in 東京

多世代が共に輝く地域を創る

日時

平成28年7月20日(水)  
10:00~15:30 (9:30開場)

会場

イノカンファレンスセンター  
(定員:200名)

主催:内閣府 後援:文部科学省、厚生労働省

## 開催にあたって

国連が、「高齢者の自立、自己実現、参加、ケア、尊厳」(五原則)を提唱し、全ての世代のための社会づくりを目指し、1999年を「国際高齢者年」と定めたことを機に、「高齢社会研究セミナー」を毎年開催してまいりました。現在は、名称を「高齢社会フォーラム」として、東京及び地方の都市で開催しています。

65歳以上の人口が総人口に占める割合を高齢化率といいますが、我が国の高齢化率は、平成27年度には26.7%となり、このまま高齢化が進めば、2060年には国民の約4割が65歳以上となる社会が到来することが予測されています。

こうした我が国においては、意欲と能力のある高齢者がその知識と経験を最大限に生かし活躍できるような環境を整えるとともに、多世代の交流を図り、知恵を出し合いながら互いに支え合っていける社会を構築することが必要です。

政府においても、誰もが活躍できる一億総活躍社会を実現すべく、本年6月に策定した「ニッポン一億総活躍プラン」に沿って、政府一丸となって取組を進めてまいります。

今年度のフォーラムは、様々な分野で活躍されている方々が一堂に会し、多世代が支え合い活躍できる地域社会づくりについて、実践事例の紹介等を交えながら、具体的な手法や課題について話し合うこととなっています。

フォーラムに参加される皆様が、多様な経験や知識を共有し、より一層活躍の場を広げる一助となれば幸いです。

平成28年7月20日

**内閣府政策統括官**

(共生社会政策担当)

平成28年度

## 高齢社会フォーラム in 東京

# プログラム

- 9:30 受付開始  
10:00 開会挨拶 内閣府  
10:10 【基調講演】**錆びない高齢者で輝く地域**  
学校法人昭和女子大学 理事長 坂東 真理子  
11:10 高齢社会対策説明 内閣府高齢社会対策担当参事官  
11:30 休憩(60分)  
12:30 分科会  
15:00 全体総括  
15:30 閉会

### 第1 分科会

#### 多世代交流のコミュニティ

高齢者と若者が共に安心して暮らせる住まいと地域社会を求めて

●コーディネーター

[1部] 袖井 孝子  
お茶の水女子大学名誉教授

[2部] 宮崎 冴子  
一般社団法人 社会貢献推進機構  
キャリア開発研究所 所長

●パネリスト

近山 恵子  
一般社団法人コミュニティネットワーク協会副会長

白木里恵子  
早稲田大学創造理工学部助教

太田 善朗  
NPO法人ニッポン・アクティブライフクラブ元理事

### 第2 分科会

#### シニアは地方創生の担い手

●コーディネーター

松田 智生  
株式会社 三菱総合研究所  
プラチナ社会研究センター  
主席研究員・チーフプロデューサー

●パネリスト

神永 剛  
一般社団法人 ディレクトフォース 理科実験グループ グループリーダー

町田 美紀  
株式会社and.取締役 and.message プロジェクト代表 高知おせっかい協会共同代表

高枝 佳男  
株式会社toor 代表取締役

永沢 映  
NPO法人コミュニティビジネスサポートセンター 代表理事

### 第3 分科会

#### カリスマな活動から地域それぞれの在り方を探る

●コーディネーター

澤岡 詩野  
公益財団法人 ダイヤ高齢社会研究財団  
主任研究員

●パネリスト

高村 ヒデ  
NPO法人江戸川・地域・共生を考える会 代表

河村 俊一  
一般社団法人 認知症予防&サポート研究所 アンクル 代表理事

瑠璃川正子  
孤蓮家族プロジェクト 代表

---

【開会挨拶】 内閣府

【基調講演】

## 錆びない高齢者で輝く地域

学校法人昭和女子大学 理事長 坂東 眞理子



### プロフィール

1969年東京大学卒業、総理府入省。95年埼玉県副知事、98年ブリスベン総領事、01年内閣府男女共同参画局長。04年昭和女子大学・女性文化研究所長、07年学長(16年3月まで)、14年4月から理事長。著書「女性の品格」「日本人の美質」「60歳からしておきたいこと」他著者40冊以上。

---

【高齢社会対策説明】 内閣府高齢社会対策担当参事官

---

## 第1分科会

### 多世代交流のコミュニティ

高齡者と若者が共に安心して暮らせる住まいと地域社会を求めて

格差と貧困が拡大する今日、高齡世代と若者世代との対立をあおるような記事があふれています。今こそ世代間の対立ではなく協調や連帯を築くことが必要です。高齡者と若者との協働を通じて、安心して暮らせる住まいと地域社会を創るために何が必要か、実践例を基に考えます。

#### ●コーディネーター

【1部】

#### 袖井 孝子

お茶の水女子大学名誉教授



【2部】

#### 宮崎 冴子

一般社団法人 社会貢献推進機構  
キャリア開発研究所 所長



#### ●パネリスト

近山 恵子 一般社団法人コミュニティネットワーク協会副会長

●まちづくり30年の経験から、高齡者が自立し協力して暮らすコミュニティを各地に展開。

白木里恵子 早稲田大学創造理工学部助教

●多世代が共に暮らすコレクティブハウスかんかん森居住者。多様な人材が入れ代わりながら、ゆるやかに自主運営を続ける暮らしに関心を持つ。

太田 善朗 NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ元理事

●在職中の経験を活かして、子育て支援事業や保育園の第三者評価事業に従事。

## 第2分科会

### シニアは地方創生の担い手

地方消滅、人口減少、老人漂流と巷は元気の出ない四字熟語ばかりです。今、大切なのはピンチをチャンスに変える逆転の発想です。シニアは社会の担い手という視点から、地方創生の担い手たるシニアや次世代シニアが挑戦している好事例を紹介し、出席者と意見交換を行います。

#### ●コーディネーター

#### 松田 智生

株式会社 三菱総合研究所  
プラチナ社会研究センター  
主席研究員・チーフプロデューサー



#### ●パネリスト

**神永 剛** 一般社団法人 ディレクトフォース  
理科実験グループ グループリーダー

- 外資系化学会社の日本法人社長の勤務経験を活かして小中学生向け理科実験授業で活躍中。

**町田 美紀** 株式会社and.取締役 and.message プロジェクト代表  
高知おせっかい協会共同代表

- 故郷の高知にUターンし、デザイン事務所と地元の食材販売と子育てを両立。

**高枝 佳男** 株式会社toor 代表取締役

- 自然豊かな奥会津の古民家からITビジネスで世界を目指し、過疎高齢化問題も解決中。

**永沢 映** NPO法人コミュニティビジネスサポートセンター 代表理事

- コミュニティビジネス支援のNPO代表理事として、団塊の世代の活躍場所作りや商店街活性化などに注力。

## 第3分科会

# カリスマな活動から 地域それぞれの在り方を探る

先駆的な取り組みを自分の地域でもやってみたいと考えても、凄すぎて真似できないと断念する活動団体が少なくありません。本分科会では、先駆的な取り組みを、地域特性や持っている力に応じて自分達流にアレンジして展開する活動者をパネリストに迎え、その在り方を探ります。

### ●コーディネーター

#### 澤岡 詩野

公益財団法人 ダイア高齢社会研究財団  
主任研究員



### ●パネリスト

高村 ヒデ NPO法人江戸川・地域・共生を考える会 代表

- 「富山型デイサービス」を都市部大規模集合団地で実現する「一緒がいいねひなたぼっこ」。

河村 俊一 一般社団法人 認知症予防&サポート研究所  
アングル 代表理事

- 大田区高齢者見守りネットワーク「みま～も」を地方都市で実現する「みま～も・ぐんま」。

瑠璃川正子 荻窪家族プロジェクト 代表

- 新宿区の「暮らしの保健室」を高齢化の進む住宅地で実現する「荻窪暮らしの保健室」。